



まなび舎



実りある2学期に向けて

校長 村山 大介

長い夏季休業が終わり、本日から2学期が始まりました。夏休み期間中、保護者の皆様には、生徒たちの健康管理や生活リズムの維持など、様々な面で御協力をいただき、誠にありがとうございました。大きな事故やけがの報告もなく、多くの生徒たちが元気な表情で登校してくれたことを大変うれしく思います。

夏休みは、生徒たちにとって学校では得ることのできない貴重な経験を重ねる機会でもあります。御家庭での役割を果たしたり、地域活動に参加したり、趣味やスポーツに打ち込んだりと、それぞれが充実した時間を過ごしたことと思います。こうした経験は、将来の自立や社会参加につながる大切な学びです。この夏に得た経験や自信を、ぜひ2学期の学校生活にも生かしてほしいと願っています。

さて、2学期は一年の中で最も長く、学習や行事が充実する学期です。進路学習や現場実習、学校行事などを通して、生徒たちが自ら考え、判断し、行動する力をさらに伸ばしていく大切な時期でもあります。一人一人が目標に向かって挑戦し、「できた」「わかった」「やってみたい」という思いを積み重ねながら、自信と成長につなげてほしいと思います。教職員一同、生徒たちの可能性を信じ、その成長を支えてまいります。

9月1日は「防災の日」です。まず、このたび千葉県で発生した線状降水帯による大雨災害により被災された皆様、ならびに熊本県で発生した地震により被害や影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災された方々が一日も早く平穏な生活を取り戻されることを願うとともに、被災地の復旧・復興が着実に進むことをお祈り申し上げます。

7月下旬に熊本地方を震源とする地震が発生し、多くの方が不安な時間を過ごされました。9月1日の「防災の日」は、関東大震災の教訓を振り返る日でもあります。地震や台風、豪雨などの自然災害は、いつどこで発生するか分かりません。だからこそ私たちは、災害を特別な出来事としてではなく、日常の延長線上にあるものとして捉え、常に備えを意識することが大切です。

本校では、避難訓練や防災教育を通して、生徒たちが自らの命を守るための知識や行動力を身に付けられるよう取り組んでいます。特別支援学校では、一人一人の特性や状況に応じた支援が必要であり、災害時においても安全を確保するための準備を重ねていかなければなりません。また、学校だけでなく、御家庭や地域との連携も大変重要です。非常時の連絡方法や避難場所の確認、備蓄品の点検など、この機会にぜひ御家庭でも話し合ってくださいと思います。災害への備えは、不安になるために行うものではなく、安心して毎日を過ごすために行うものです。日頃からできる準備を積み重ねることが、いざという時に自分や大切な人を守る力になります。そして、このような力は、将来社会の中で主体的に生活し、働き、地域の一員として活躍していくためにも欠かせない力です。

2学期は、生徒たち一人一人が自らの可能性を広げ、将来への歩みを進める大切な学期となります。本校では、一人一人の希望する進路の実現と豊かな社会参加に向け、日々の学習や体験的な活動を充実させながら、生徒たちの力を育んでまいります。安心して挑戦できる環境の中で、自分らしい生き方を見つけ、卒業後も地域社会の中で生き生きと活躍できる力を培ってほしいと願っています。

2学期も、生徒たちが安心して学び、自分らしく成長できる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校からのお知らせ

令和8年度学校評価アンケートについて

今年度の学校運営及び教育活動において、振り返り、改善につなげるために、「学校評価アンケート」の御協力をお願いいたします。アンケートの配布及び御提出予定期間は以下のとおりです。

アンケートの配布日 : 令和8年10月5日（月）

アンケートの提出締切日 : 令和8年10月16日（金）まで